

令和5年8月発刊



経済調査会積算研究会 編
B5判 約1,850頁
定価12,650円(本体11,500円+税)

令和5年度版

工事歩掛要覧

土木編 上

国土交通省 土木工事標準積算基準書3編 (共通編) (河川編) (道路編) の全工種をこの1冊に収録!!

- 国土交通省が公表する土木工事標準歩掛(施工パッケージを含む)に基づいた積算基準書
- 基礎資料として、積算基準の改定、施工パッケージ型積算方式、公共工事設計労務単価、建設機械経費・賃料の概要について解説

PC、タブレット端末およびスマートフォン等で閲覧できる
電子書籍版の無料閲覧サービス付

令和5年度版の主な改定

積算基準の改定

- 週休2日を標準とした取組への移行
- 工期設定のさらなる適正化
- 柔軟な休日の設定
- 時間外労働規制の適用に向けた工事積算等の適正化
- 総価契約単価合意方式(後工事の間接費の調整について)
- 土木工事標準歩掛
新規制定【3工種】
日当たり施工量、労務、資機材等の変動により改定を行った工種【7工種】
- 施工パッケージ関係
新規制定【3工種】
日当たり施工量、労務、資機材等の改定を行った工種【2工種】
- 鋼橋製作工の改定

など

主要目次

第I編 総則

第II編 共通

①土工 ②共通工 ③基礎工 ④コンクリート工 ⑤仮設工

第III編 河川

①河川海岸工 ②河川維持工 ③砂防工 ④地すべり防止工

第IV編 道路

①道路舗装工 ②道路付属施設工 ③道路維持修繕工
④共同溝工 ⑤トンネル工 ⑥道路除雪工 ⑦橋梁工

参考 土木工事標準単価および市場単価(一部)
基礎資料編

令和5年8月発刊



経済調査会積算研究会 編
B5判 約1,350頁
定価 11,550円(本体10,500円+税)

令和5年度版

工事歩掛要覧

土木編 下

国土交通省・農林水産省・厚生労働省の公表歩掛と計算実例!!

- 国土交通省、農林水産省をはじめ各省庁の積算基準に準拠し、利用頻度の高い歩掛を使いやすく編集して掲載

PC、タブレット端末およびスマートフォン等で閲覧できる
電子書籍版の無料閲覧サービス付

主要目次

総則

公園緑地工事

公園植栽工(公園植栽工/公園除草工/公園工)

下水道工事

管路施設工事(開削工、推進工法、シールド工法)/管きよ更生工事/終末処理設備工事/参考

電気通信設備工事

一般事項/共通設備工/工場製品輸送工

港湾工事

工事の積算/浚渫・土捨工/基礎工/本

体工(ケーソン式)/本体工(ブロック式)/本体工(場所打式)/本体工(鋼矢板式)/本体工(鋼杭式)/被覆・根固め工/裏込・裏埋工/上部工/付属工/構造物撤去工/回航/単価表/参考

漁港漁場関係工事

漁港漁場関係工事の積算について/漁港漁場関係工事歩掛

空港工事

工事費の積算/基本施設舗装(コンクリート舗装工(空港)、アスファルト舗装工(空港)、グレーピング工(空港)、タイダウンリング工・アースリング工(空港))/用地造成(ケーブルダクト工、柵工)

土地改良工事

工事費積算/ほ場整備工/農地造成工/トンネル工/フリーム類据付工/河川・水路工/管水路工/コンクリート工/コンクリート補修工/復旧工/共通仮設

森林整備工事

工事費の積算/共通工/治山/林道

上水道工事

工事費の積算/開削工/その他歩掛/参考資料

計算実例集

基礎資料編

内容見本

ICT施工

②-2 土工 (ICT)

(1) 適用範囲

本資料は、ICTによる土工に適用する。

① 適用できる範囲

④ 掘削 (ICT) ※[ICT 建機使用割合 100%]

3D-MG または MC バックホウによる土砂、岩塊・玉石の掘削積込、または、3D-MG または MC バックホウによる土砂の片切掘削

⑤ 路体 (築堤) 盛土 (ICT)

3D-MG または MC ブルドーザによる施工幅員 4.0m 以上の土砂等を使用した路体 (築堤) 盛土

⑥ 路床盛土 (ICT)

3D-MG または MC ブルドーザによる施工幅員 4.0m 以上の土砂等を使用した路床盛土

② 適用できない範囲

④ 掘削 (ICT) ※[ICT 建機使用割合 100%]

3D-MG または MC バックホウ以外による掘削

⑤ 路体 (築堤) 盛土 (ICT)

3D-MG または MC ブルドーザ以外による路体 (築堤) 盛土

⑥ 路床盛土 (ICT)

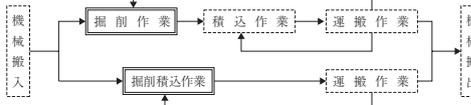
3D-MG または MC ブルドーザ以外による路床盛土

(2) 施工概要

① 施工フロー

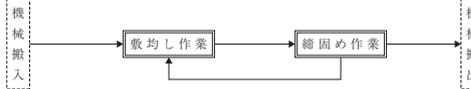
図 II ②-9 施工フロー

①掘削 (ICT) ※[ICT 建機使用割合 100%]



(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
2. 積込、運搬作業が必要な場合は、「②-1 土工」により別途計上すること。

②路体 (築堤) 盛土 (ICT)、路床盛土 (ICT)



(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。

代表機材規格一覧

⑤ 代表機材規格

次表の機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表 II 2 ③-35 現場打基礎コンクリート代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	摘要	
機 械	K1	バックホウ (クローラ型) 標準型 クレーン機能付 排出ガス対策型 (第3次) 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³) 吊能力 2.9t	賃料
	K2	バックホウ (クローラ型) 標準型 排出ガス対策型 (2011年規制) 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	・賃料 ・基礎砕石ありの場合
	K3	—	—
労 務	R1	型わく工	—
	R2	普通作業員	—
	R3	土木一般世話役	—
	R4	特殊作業員	—
材 料	Z1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	—
	Z2	軽油 1.2号 バトロール給油	—
	Z3	—	—
	Z4	—	—
市場単価	S	—	—

単価表

(6) 単 価 表

表 II 2 ①-22 スラリ-攪拌工杭長〇〇m 1本当たり 単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人	$\frac{1}{N} \times 1$			表 II 2 ①-11 ~ II 2 ①-18
特殊作業員		〇	$\frac{1}{N} \times 2(3)$			〇
普通作業員		〇	$\frac{1}{N} \times 1$			〇
改良材		t	V			式1)
深層混合処理機 (スラリ-式) 運転		日	$\frac{1}{N}$			表 II 2 ①-8 ~ II 2 ①-10、 II 2 ①-12 ~ II 2 ①-18 機械損料
スラリプラント (全自動) 運転		〇	$\frac{1}{N}$			〇
諸 雑 費		式	1			表 II 2 ①-20
特 許 料 金		〇	1			必要に応じ計上
計						

(注) N: 日当たり杭施工本数 (本/日)
V: 1本当たり改良材使用量 (t/本)
() 書: 二軸施工 (変位低減型) の場合に適用する。

参照歩掛・単価表

単 価 表 名	単 位	参 照 表 番 号